

週刊 まいまつ



發行所
秋田縣 楓手町
四日町・電話9番
たいまつ新聞社
印 刷 所
秋田市下米町
秋田中央印刷會社
發行責任者
武野 武治
定價1部3圓

主張

東北よ！百年前の過失を繰返すな

いなどした餘りにもコツケよくなることによつて自己悲劇的現実を打開しもよくなる」といふ生き方で、本来そうあるべきよう個人同士の間に、國と國との間にも、國と國との間にも、貫して實現する者はどのドレイであつてもこそ現代革命の中やストラーネ。何ごとのドレイでもそれはデモ行や進やスト

我々が今のようにみじめな布告第一號が徳川時代の制
ありさまとなつたのもそもそもそつくりであつたことは、日本全體の進歩はゆがめられたもの
の原因は、明治新が近代化をもたらすに至つたのである。平民の力があつたのは、我々自身はいわば四法
革命として中途半端な不具合のもので終つたところから、弱かつたのには無論それのみで、かくに不平
の苦でのもので終つたところから、弱かつたのには無論それのみで終つたところから、弱かつたのには
きている。本来ならば徳川幕府を中心とする封建勢力
勢力を倒すものは、工商農の平民が、私たち東北人として特谷縣を通るたびに煙草筋にて、この問題と
の主導者は、その葬り去らぬからぬつぶりのあつたことを持ちだしたか。百年後
れるべき武士階級のなかの者に握られた。カンガケに
はいっている人間が同時にい。時代の大さな流れを見
ハカホリ人足をつとめた。ぬく力、生産を發達させて
従つて表面は色派手な改革をやつても實際は舊習
居のいゝかげんなものだつた。お江戸日本橋のはさりに立てられた明治新政府の
がま、勝手の役人政治がし

かれ、兵權すら獨占され、の社会的なわけがあつたの苦みをためてきたのが、その地の民としていかに不平
きている。本来ならば徳川幕府を中心とする封建勢力
勢力を倒すものは、工商農の平民が、私たち東北人として特谷縣を通るたびに煙草筋にて、この問題と
の主導者は、その葬り去らぬからぬつぶりのあつたことを持ちだしたか。百年後
れるべき武士階級のなかの者に握られた。カンガケに
はいっている人間が同時にい。時代の大さな流れを見
ハカホリ人足をつとめた。ぬく力、生産を發達させて
従つて表面は色派手な改革をやつても實際は舊習
居のいゝかげんなものだつた。お江戸日本橋のはさりに立てられた明治新政府の
がま、勝手の役人政治がし

が、私たちは東北人として特谷縣を通るたびに煙草筋にて、この問題と
の主導者は、その葬り去らぬからぬつぶりのあつたことを持ちだしたか。百年後
れるべき武士階級のなかの者に握られた。カンガケに
はいっている人間が同時にい。時代の大さな流れを見
ハカホリ人足をつとめた。ぬく力、生産を發達させて
従つて表面は色派手な改革をやつても實際は舊習
居のいゝかげんなものだつた。お江戸日本橋のはさりに立てられた明治新政府の
がま、勝手の役人政治がし

が、私たちは東北人として特谷縣を通るたびに煙草筋にて、この問題と
の主導者は、その葬り去らぬからぬつぶりのあつたことを持ちだしたか。百年後
れるべき武士階級のなかの者に握られた。カンガケに
はいっている人間が同時にい。時代の大さな流れを見
ハカホリ人足をつとめた。ぬく力、生産を發達させて
従つて表面は色派手な改革をやつても實際は舊習
居のいゝかげんなものだつた。お江戸日本橋のはさりに立てられた明治新政府の
がま、勝手の役人政治がし

地方の心は一筋道

この政情を地方でいるか、哀れむ日本政治にそる雄平仙三郎をまである。

◇人物寸描◇ 作家伊藤永之介の巻

一われる苦こそ、國についている敵みたいるからこそは國民の堅持と眞にいからこそ日本の古占領地職を求めてヤミだけに取締が業安定職などといつくりだる人で教う政治村人で捨てる本後が過度の民主制度いでこれが原因をさせたのでこれならぬと人々をヤミ屋に食えなかつた

若い者に、これから多くの経済全般から商賣もろく終う動きを反映してゐるが、手の公共所には月二百名平半者があるが大半はその三割は女性で年齢は二十半ばを占め、これによると年次に就職する者の多くは、いわば「年次に就職する者」である。今まではこの人たちは「今までやつてきたがもくなつたから」と

定職へめはえる反叛

む者が多い、とて
系統の仕事はほんと
て力仕事ばかりで
所だけの窓口から
人に對して求職
になつてゐる。

どんか次のようにもつと～一般をあわせてほし材の加工・工業野の開拓による△植林・林道の事業のや經營に従事する爲には何には何地の方法をたててゐる爲務所經濟課などで「農業改善研究」とすら強めてお日ます。仕事の點にきた。仕事の點がバカにいそが點では秋のとおり、一年じゆうで一年ねはならぬムラ生活を改めて、常に仕事があり常に収入があるけれども、いかがからそのういうの

のについは、人の人々も力、验、いと縣社會、ハラヤや竹、化ム山林原、農地の擴張、開設△漁業、の振、をう、とてゆく農村、農産物を切抜ける、としても農、眼と、かえてゆか、それの實事、量に、きる、る、の町村に、各町、會」をつくすか、外から十五、その會がでなり、产品では春と秋、こと、いれによつらしてゆか、うの、ある農家をうり去る、一年じゆうも六、一年じゆうげて、ようになつて、も立つて、に土、方法を考え、頭こ

興と△海産物の加工
海外引揚者の知識
技能を活用して新
ながし、それに對
するまでなるたけ
が自動的に組合を
互助組織をひろめ
るために農作物は即
加工品、家畜、桑
至るまでの生産計
給することを第一
し、どの品物をど
うすれば何件供
給してどれだけ供
かという計畫を實
しかし實際問題題
村で自給するこ
すから立派な手
貰えるだけの金
町なりでつくるた
の生産計畫をたて
が第二の狙いだ。
仙台北清水町歩に
八代二十五町歩に
、七十萬圓の販賣
「縣内一のセリ」
つては、これがだ
地の特性をよく考
働かせて力を合せ
でも必ず縣内一の

の擴大、経営の失敗も、物を生産して販賣する事に起つてゐる。農業家などは、主としてこの研究會に参加する。そこで、生産活動力を高め、生活水準を向上させる事に努力する。一方で、事務所で販賣を行なう。これが最も多く、農民階級が最も多く、農業生産者である。そこで、生産活動力を高め、生活水準を向上させる事に努力する。一方で、事務所で販賣を行なう。これが最も多く、農業生産者である。

きるはすでに、この「ただ元まない住まい」をうなづいたり、「ない収入」をうなづいたりする。そこで、廣告欄を用下さるなり、と信ずる君が抜い考えをさまために、どうぞよろしくお聞きください。

めぐる中央政局に

これから定職へ

の夫婦者
の職業安
あける。
れば求
どなく
り安定
が事務
係を望
の割合
職

む者が多い、そこで
系統の仕事はほんと
て力仕事ばかりで
所だけの窓口から
人3に對して求職
になつてゐる。

じろ
どん
てあ
らみ
をあわせてほし
課で望んでいる
材の加工、工業
野の開拓による

のに於けるは
とについて
の人々も力
いと縣社會
△リラや竹
化△山林原
農地の擴張
開拓△漁業
融資
業者
して

興△海産物の加工
海外引揚者の知識
技能を活用して新
ながし、それに對
を容易にすること
が自主的に組合を
互助組織をひろめ

の擴大を生産で
れによつて、誠に、企事業事、たえま
じてみだそうと
この研究會
篤農家など
し経費は町
考えだされ
るこ

きるばすで、こ
「たえまない仕
ない収入」をう
いうのだ。

